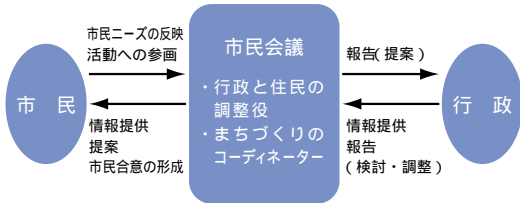


協働で進めるまちづくり事例

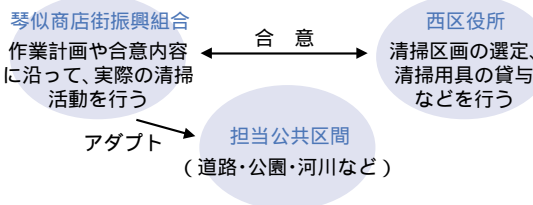
1 東区まちづくり市民会議

学識経験者や公募による地域住民などで構成。地域社会の活性化を目指し、「公園」「ごみ」「まちの魅力」をテーマに自主的なまちづくり活動を展開しました。現在、メンバーが市民参加を幅広く呼び掛けるとともに、市民と行政との調整役も担っています。



2 アダプト・プログラムによる環境美化活動

アダプトとは、英語で「養子縁組する」という意味です。地域住民や企業が、道路や公園など一定の公共の場所をわが子とみなして、定期的・継続的に清掃活動などを行います。現在、西区の琴似商店街振興組合と西区役所が実施しています。



3 ごみ減量・リサイクル

「燃えるごみ」「燃やせないごみ」「びん・缶・ペットボトル」「プラスチック」などの分別は市民の役割で、その回収や処理、再資源化は行政の役割。協働でごみ減量・リサイクルを推進しているのです。



変革型市役所に向けて 全庁を挙げて行政経営改革を推進

市役所が、協働型社会の一

行政経営戦略

構成員としてその役割を果たしていくには、まず自らが変わらなければなりません。そこで、都市経営基本方針には、その具体的な指針となる「三つの行政経営理念と九つの目標（下表）」を掲げています。今後は、この理念と目標の下、都市経営基本方針と同時に策定した「行政経営戦略」と「中期財政見通しと今後の財政運営の考え方」に基づき、行政の体質変革と財政の健全化という視点から、全庁を挙げて行政経営改革に取り組んでいきます。

中期財政見通しと今後の財政運営の考え方

十四年度予算編成時の諸条件を前提として、十八年度までの中期的な収支を試算。十五年以降、毎年二百〇四

億円の収支不足が発生する見通しです。このため、今後も市税をはじめとする歳入の確保や歳出全般の総点検に取り組み、足腰の強い財政構造への転換を目指します。

市では、協働型社会を実現するためには、市民の皆さんと一緒に考え、知恵を出し合うことが何よりも大切だと考えています。皆さん一人ひとりによるまちづくりへの積極的な参加をお待ちしています。「都市経営基本方針」「行政経営戦略」「中期財政見通しと今後の財政運営の考え方」は、市役所2階市政情報センター、各区の区役所広聴係、連絡所出張所、図書館で閲覧できる

三つの行政経営理念と九つの目標

理念 1

限られた経営資源*で最大のバリュー（価値）を創造し続けることにより、市民満足を向上させる。

- ① 民間の経営手法を学び、「顧客志向」と「成果主義」の行政経営を行います。
- ② コスト意識を高めるとともに、質の高い施策展開を行い、財政の健全化を進めます。
- ③ IT（情報技術）を積極的に活用しながら、市民の方々が実感できるようなサービスアップを進めます。

*経営資源：人、物、金など

理念 2

市民と情報を共有し透明性を高めながら、協働型社会に向けて、行政の仕組みを再構築していく。

- ④ 情報公開の徹底を図るとともに、市政情報を市民の皆さんに分かりやすく伝え、透明な市役所づくりを進めます。
- ⑤ 市民の皆さんの意見や考えを行政活動につなげるために、さまざまな手法による市民参加型行政を進めます。また、市民意識調査なども拡充します。
- ⑥ 必要な市民議論を行いながら、行政の役割を見直し、民間（市民・企業・NPOなど）にゆだねるべきものは積極的に民間にゆだねます。

理念 3

それぞれの職員、それぞれの組織が、主体的に挑戦し、変革し続けていく。

- ⑦ 実際に事業やサービス提供を行う部局や区に権限と責任を移し、常に変化し続ける市民ニーズに機動的に対応できる体制づくりを進めます。
- ⑧ 行政内部の意思決定や市民へのサービス提供のスピードを上げます。
- ⑨ 職員一人ひとりが、市民のために不断に挑戦・変革し続けます。

ほか、ホームページ：<http://www.city.sapporo.jp/somu/> 2177、gyokaku@city.sapporo.jp、Eメール toshikeiei@somu.city.sapporo.jp、city.sapporo.jp。ご意見は、都市経営課（211）[（218）51171、](tel:011-5117-2111)[（218）51171、](tel:011-5117-2111)